

- 社会教育施設夜間管理及び定期清掃業務委託料
- 社会教育施設受付管理及び用務、日常清掃業務委託料 22,017 千円
- 文化・芸術、スポーツ大会参加補助金 1,000 千円
- 図書管理等システム保守委託料  
自家用電気工作物保安管理業務委託料  
昇降機保守点検委託料他 2,897 千円
- 図書管理等システムリース料 1,828 千円
- 図書、AV資料購入費等 7,000 千円  
(図書 2,800 冊、ビデオ、DVD等 87 本を整備想定しております。)
- 町体育協会補助金 1,765 千円
- スリーユーパーク芝生管理業務委託料  
(パークゴルフ場、キャンプ場、多目的広場、散策路、桜堤の芝生管理業務)
- リフレッシュパーク芝生管理業務委託料  
(町民グラウンド、町営野球場、運動広場、その他周辺の芝生管理)

- 町民プール水質検査業務委託料 19,595 千円
- 体育施設管理業務委託料 他 3,500 千円
- 備品購入費 3,500 千円  
(グレンデの圧雪、クロカンコースの整備等のため圧雪車の購入をするものです。)



- 各種大会役員謝金他 3,516 千円
- 【公債費】
- 元金償還金 4 億 73,550 千円
- 利子償還金 52,210 千円
- 一時借入金利子 3,000 千円
- 【諸支出金】
- 土地等購入 1,000 千円

◆平成二十一年度京極町老人保健特別会計 ……原案可決  
 ・歳入歳出予算総額 三, 二九二千円  
 (前年対比九二・四%の減)  
 老人保健制度につきましては、平成二〇年四月から高齢者の医療の確保に関する法律によりまして後期高齢者医療制度に切り替わっております。  
 本年度の予算計上につきましては、過去の医療費請求の過誤調整等にかかる予算のみを計上しており、本年度の予算額は前年度対比九二・四%の減額となっております。

密にし、制度の理解を深める普及・啓発活動を行っていくとともに制度の効率的な実施を図ってまいります。又、被保険者一人ひとりが日ごろから健康づくりを心がけるとともに、医療費の増嵩を抑制するための重複受診や頻回受診の抑制、予防医療等、今後とも医療費の適正化を図ってまいります。  
 尚、本年度の予算額につきましては、後期高齢者医療保険料の他、北海道後期高齢者医療広域連合に対する事務費負担分及び軽減世帯に対する保険基盤安定分等を計上しており、前年度対比一一・八%の減額となっております。

◆平成二十一年度京極町後期高齢者医療特別会計予算 ……原案可決  
 ・歳入歳出予算総額 三九, 二五四千円  
 (前年対比一一・八%の減)  
 平成二〇年四月より後期高齢者の医療保険は老人保健制度から全道組織の広域連合が運営する後期高齢者医療制度へ移行されております。医療給付の一割相当分につきましては、被保険者であります高齢者から保険料を徴収する仕組みとなっており、今後とも運営母体であります「北海道後期高齢者医療広域連合」と連携を

◆平成二十一年度京極町国民健康保険事業特別会計 ……原案可決  
 ・歳入歳出予算総額 一億三七, 八七五千円  
 (前年対比七三・二%の減)  
 国民健康保険事業につきましては、地域の基盤をなす医療制度の中核として大変重要な役割を果たしておりますが、しかしその一方で被保険者に占める退職者や高齢者の割合、更には高度医療により医療費は年々増加しております。国は現役世代と高齢者の負担の是正と高齢者医療の安定した財政運営を行うことを目的に七十五歳

以上等の高齢者を対象として都道府県を保険者とする後期高齢者医療制度を創設し、この制度は平成二〇年四月より施行されております。しかしながら小規模な自治体にとつては、被保険者数の減少に加え、高医療費による保険給付の発生などから保険税の増加に大きな影響を与え、国保財政への負担リスクが高まる懸念が懸念されております。

このような医療保険制度改革の流れや各自自治体における保険給付を確保するため、本年四月からは各自自治体との広域化による安定的かつ円滑な事業運営を図るため後志広域連合としての国民健康保険事務がスタートとなります。  
 この事務の遂行にあたりましては、後志広域連合と各町村がその役割を明確にするとともに、被保険者の利便性に配慮しつつ、事務の効率化を図ってまいります。  
 なお、このことにより本年度の予算額につきましては後志広域連合と各町村との事務分担により前年度対比七三・一%の減額となっておりますが、この広域化のスケールメリットを生かし、また保険財政の安定化を図るため後志広域連合と連携を密にし、本町に居住する高齢者の保健・医療・福祉の向上に寄与するよう努めてまいります。

◆平成二十一年度京極町国民健康保険病院事業会計 ……原案可決  
 ・収益的収入及び支出 四億七九, 七三六千円  
 (前年対比七五・一%の減)  
 ・資本的収入及び支出 四, 八九八千円  
 (前年対比七五・一%の減)  
 国保病院の運営につきましては、リハビリ機器の整備や内視鏡の更新をさせていただき、地域における基幹的な医療機関として住民ニーズに対応した施設整備に努めてまいりましたが、国の医療費抑制政策により病院経営をめぐる環境はこれまで以上に厳しいものになっております。  
 こうした中で、総務省より「公立病院改革ガイドライン」が示され、公立病院を抱える自治体は平成二十年度中に改革プランを策定することが求められる等、公立病院改革は避けて通ることができない課題となりました。  
 京極町は高齢化や過疎化が進み、町民、特に高齢者にとつて「医療」は不可欠であることから、各関係機関の代表・町民の代表からなる「国保病院のあり方検討委員会」を設置し、地域にとつて必要な医

療をどのように確保していくのかに関して検討していただきました。検討委員会では、町民の意向を代表して本町の国保病院の望ましい姿について考えがまとめられ、改革の猶予期間五年間を利用して経営の効率化、提供する機能の確保、病床数の根本的な見直し等について段階的に整理し、この期間中はできるだけ現状に近い医療サービスの提供を図られるよう希望するものであります。  
 京極町としては答申を尊重すると同時に、二次医療圏の基幹病院である俱知安厚生病院との連携、更には、町内にある他の医療機関や保健・福祉・介護と一体となつた地域における包括的ケア体制の構築等、克服しなければならぬ課題も多くあることから、平成二十三年度までは現行の国保病院として運営していくことを考えております。  
 今後は、行政内部に設置している「国保病院改革プラン策定委員会」において、国保病院の診療所化を想定した規模の適正化の検討を継続して行います。

◆平成二十一年度京極町水道特別会計 ……原案可決  
 ・歳入歳出予算総額 九六, 三二六千円  
 (前年対比二一・〇%の増)  
 本年度増額となつた関係につきましては、下水道会計からの人件費の移行に伴う関係と、水道メーター取替工事の台数の増によるものであります。主な事業は、継続事業として水道メーター取替工事を年次計画のもとに実施すべく予算計上しております。又、委託調査関係においては、新規の簡易水道施設整備他、水道メーター検診、水道台帳作成、水道水源地清掃委託料等も継続計上しております。  
 ◆平成二十一年度京極町下水道特別会計 ……原案可決  
 ・歳入歳出予算総額 一億五五, 八五六千円  
 (前年対比二六・七%の減)  
 本年度大幅な減額となつた要因といたしましては、起債の繰上償